

医療情報学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Yamaguchi E, Obase Y, Fukahori S, Iriki J, Kawano T, Sakamoto N, Doi R, Matsumoto K, Tsuchiya T, Fukushima C, Matsumoto T, Nagayasu T, Mukae H: Preoperative respiratory intervention eliminated the operation cancellations of lobectomy surgery. *Journal of Medical Systems* 46(6): 2022. doi: 10.1007/s10916-022-01811-5.
2. Kinoshita T, Matsumoto T, Taura N, Usui T, Matsuya N, Nishiguchi M, Horita H, Nakao K: Public Interest and Accessibility of Telehealth in Japan: Retrospective Analysis Using Google Trends and National Surveillance.. *JMIR formative research* 6(9): e36525, 2022. doi: 10.2196/36525.

B 邦文

B-a

1. 松本武浩：地域医療と情報通信技術（Information and Communication Technology :ICT）シリーズ「地域医療を実践する内科医とは」具体的な地域医療活動. *日本内科学会雑誌* 111(4): 795-799, 2022.
2. 松本武浩, 木下琢也, 田浦直太, 西口真由美, 堀田ほづみ, 山口真美, 伊藤真由美, 井上公介, 辻 藍：原価計算を用いたクリニカルパス利用例の収支分析による経営効果. *日本クリニカルパス学会雑誌* 24(2): 159-163, 2022.
3. 嶺 豊春, 室 高広, 山口真美, 田浦直太, 松本武浩：メディカルサポートセンター術前検査・持参薬確認業務の運用と評価. *日本医療マネジメント学会雑誌* 23(3): 176-180, 2022.
4. 松本武浩, 木下琢也, 田浦直太, 西口真由美, 堀田ほづみ, 山口真美, 伊藤真由美, 井上公介, 辻 藍：病院経営を意識したパスの作成・運用・見直し-各専門職の目線で- 原価計算を用いたクリニカルパス利用例の収支分析による経営効果. *日本クリニカルパス学会誌* 24(2): 2187-2192, 2022.

B-c

1. 松本武浩：【アフター&ウィズコロナ時代の遠隔医療最前線 オンライン診療から遠隔手術支援まで、これからのスタンダードを知る】地域医療連携における遠隔医療 「あじさいネット」の取り組み. *INNERVISION* 37(7): 32-34, 2022.
2. 松本武浩, 森崎正幸：真に有用な地域医療連携システム強化の要諦 情報共有の促進で期待される医療の質向上の実際 循環器・呼吸器疾患に対する地域医療連携システムを活用した質向上の取り組み. *新医療* (49): 64-68, 2022.
3. 松本武浩：アフター&ウィズコロナ時代の遠隔医療最前線 オンライン診療から遠隔医療手術支援まで、これからのスタンダードを知る 地域医療連携における遠隔医療—あじさいネットの取り組み. *IT vision* 46: 32-34, 2022.

B-e-1

1. 木下 琢也, 松本 武浩, 田浦 直太, 臼井 哲也, 西口 真由美, 堀田 ほづみ, 松屋 合歓, 中尾 一彦：医療機関における地域医療連携ネットワークシステムとオンライン診療の関連 長崎県の導入実態とあじさいネットの活用. *日本遠隔医療学会雑誌* 17(補刊号): 13, 2022.
2. 木下 琢也, 松本 武浩, 田浦 直太, 臼井 哲也, 松屋 合歓, 西口 真由美, 堀田 ほづみ, 中尾 一彦：長崎県における連携病院への距離とオンライン診療アプリ採用との関連 電話診療を採用している診療所との比較. *日本遠隔医療学会雑誌* 17(補刊号): 12, 2022.
3. 松本 武浩：シリーズ：地域医療を実践する内科医とは 具体的な地域医療活動 地域医療と情報通信技術 (Information and communication Technology:ICT). *日本内科学会雑誌* 第111巻(第4号): 795-799, 2022.
4. 木下 琢也, 松屋 合歓, 松本 武浩, 田浦 直太, 臼井 哲也, 西口 真由美, 堀田 ほづみ, 阪本 純一, 中尾 一彦：連携医療機関の距離とオンライン診療導入の関連 電話診療とアプリケーションとの比較. *日本医療情報学会春季学術大会プログラム・抄録集* 26回: 104-105, 2022.
5. 松本 武浩, 田浦 直太, 臼井 哲也, 木下 琢也, 阪本 純一, 大伴 哲治, 西口 真由美, 堀田 ほづみ, 藤沢 章令, 本田 千春, 牛嶋 拓也, 伊藤 真由美, 中尾 一彦：想定される様々な画像レポートに対応した画像・画像レポート未読管理システムの初期評価. *日本医療情報学会春季学術大会プログラム・抄録集* 26回: 94-95, 2022.

6. 木下 琢也,松本 武浩,田浦 直太: COVID-19過におけるオンライン診療の使用実態 非常事態宣言の有無による比較. 日本医療マネジメント学会雑誌 23(Suppl.): 303, 2022.
7. 木下 琢也,松本 武浩,田浦 直太: COVID-19過におけるオンライン診療の関心 グーグルトレンドを用いた相関分析. 日本医療マネジメント学会雑誌 23(Suppl.): 289, 2022.
8. 松本 武浩,山口 真美,田浦 直太,木下 琢也: MSC術前検査の効果 入院日数と収支分析による、医療安全と病院経営に対する影響. 日本医療マネジメント学会雑誌 23(Suppl.): 254, 2022.
9. 松本 武浩,木下 琢也,田浦 直太,西口 真由美,堀田 ほづみ,山口 真美,伊藤 眞由美,井上 公介,辻 藍: 病院経営を意識したパスの作成・運用・見直し-各専門職の目線で- 原価計算を用いたクリニカルパス利用例の収支分析による経営効果. 日本クリニカルパス学会誌 24(2): 159-163, 2022.
10. 黒部 昌也,本川 哲史,河野 浩章,西口 真由美,堀田 ほづみ,松本 武浩,前村 浩二: 患者セルフケア向上を目的とした心不全クリニカルパスの有用性. 日本クリニカルパス学会誌 24(3): 326, 2022.
11. 松本武浩,木下琢也,阪本純一,井上公介,辻 藍,岩崎 恵,辻 明美,堀田ほづみ,出口砂緒利,伊藤眞由美: クリニカルパスの経営改善効果~原価計算を利用した詳細分析~. 日本クリニカルパス学会誌 24(3): 258, 2022.
12. 松本 武浩,木下 琢也,阪本 純也,田浦 直太,臼井 哲也,大伴 哲治,一橋 了介,辻 明美,堀田 ほづみ,山下 利佳,野上 朋幸,伊藤 眞由美: オンライン診療アプリケーション「YaDoc」を利用したPHR構築. 医療情報学連合大会論文集 42回: 1378-1381, 2022.
13. 木下 琢也,田浦 直太,松屋 合敏,阪本 純一,臼井 哲也,辻 明美,堀田 ほづみ,松本 武浩: COVID-19禍におけるADHDと電話診療の実態 差分の差分析を用いた政策介入効果. 医療情報学連合大会論文集 42回: 1351-1352, 2022.
14. 松本 武浩,木下 琢也,阪本 純也,田浦 直太,臼井 哲也,大伴 哲治,一橋 了介,辻 明美,堀田 ほづみ,山下 利佳,野上 朋幸,伊藤 眞由美: 電子化クリニカルパスによるインシデント予防効果の評価. 医療情報学連合大会論文集 42回: 731-734, 2022.
15. 臼井 哲也,石原 香織,松本 武浩,木村 由美子,加勢田 富士子,長谷川 寛雄,柳原 克紀: 長崎大学病院における中央採血室混雑緩和のための取り組み. 医療情報学連合大会論文集 42回: 1290-1291, 2022.
16. 松本武浩,田浦直太,木下琢也,臼井哲也,中尾一彦: オンライン診療ソフトウェアを利用したPHR構築の取り組み. 日本遠隔医療学会雑誌 17(補刊号): 5, 2022.
17. 木下琢也,田浦直太,西口真由美,堀田ほづみ,松本武浩,松本武浩: COVID-19禍における訪問看護と電話診療の実態:リアルワールドデータを用いた流行前後の比較. 日本医療情報学会看護学術大会論文集 23rd: 2022.
18. 松本武浩,山口真美,田浦直太,木下琢也: 画像レポート管理システム導入と医師事務作業補助者支援による未読管理効果. 日本医療マネジメント学会雑誌 23(Supplement): 242, 2022.
19. 一橋了介,松本武浩,田浦直太,西口真由美,辻明美,堀田ほづみ,由良美幸,伊藤眞由美,本田千春,井上公介: 院内パス教育活動の体制化とその取り組み. 日本クリニカルパス学会誌 24(3): 2022.
20. 松本 武浩,木下 琢也,田浦 直太,西口 真由美,堀田 ほづみ,山口 真美,伊藤 眞由美,井上 公介,辻 藍: 原価計算を用いたクリニカルパス利用例の収支分析による経営効果—特集 第21回学術集会; パネルディスカッション 病院経営を意識したパスの作成・運用・見直し: 各専門職の目線で. 日本クリニカルパス学会誌 = Journal of Japanese Society for Clinical Pathway 24(2): 159-163, 2022.
21. 大伴哲治,松本武浩,伊藤眞由美,辻 明美,堀田ほづみ,一橋了: 病院情報システム更新におけるインクジェットプリンタ採用の業務改善およびコスト削減効果. 日本医療情報学会看護学術大会論文集 42: 1315-1318, 2022.
22. 嶺 豊春,室 高広,山口 真美,田浦 直太,松本 武浩: メディカルサポートセンター術前検査・持参薬確認業務の運用と評価—Evaluation of preoperative procedures and management of medicine brought in by patients by the medical supporting center. 日本医療マネジメント学会雑誌 = The journal of the Japan Society for Health Care Management 23(3): 176-180, 2022.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	18	2	26

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
松本武浩・准教授	評議員	日本医療情報学会
松本武浩・准教授	評議員	日本医療マネジメント学会
松本武浩・准教授	委員・情報共有WG長	長崎市地域包括ケア推進協議会
松本武浩・准教授	委員	長崎県医師会情報システム研究委員会
松本武浩・准教授	幹事	日本医療連携研究会
松本武浩・准教授	幹事	全国ID-Link研究会
松本武浩・准教授	幹事	国立大学病院医療連携・退院支援関連部門連絡協議会
松本武浩・准教授	医療情報委員会委員	日本クリニカルパス学会
松本武浩・准教授	長崎市医師会情報処理委員会委員	長崎市医師会
松本武浩・准教授	委員	長崎県医療 ICT 等検討会
松本武浩・准教授	都道府県がん診療連携拠点病院 がん登録部会の部会委員	国立研究開発法人 国立がん研究センター
松本武浩・准教授	評議員	日本クリニカルパス学会
松本武浩・准教授	庶務部IT委員会委員	日本臨床内科学会
松本武浩・准教授	登録部門長	長崎県がん診療連携協議会
松本武浩・准教授	医療分野におけるIT化検討委員会委員	長崎県福祉保健部
松本武浩・准教授	救急医療情報システム検討委員会委員	長崎県福祉保健部
松本武浩・准教授	長崎県あじさいネット拡充プロジェクト室室長	長崎県福祉保健部
松本武浩・准教授	情報システム検討委員会委員	長崎県医師会
松本武浩・准教授	長崎県情報化検討委員会委員	長崎県医師会
松本武浩・准教授	理事・運営委員会委員	NPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会（あじさいネット）
松本武浩・准教授	会長	長崎クリティカルパス協議会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
松本武浩・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業「地域医療情報システムを用いた脳卒中・心疾患共通レジストリ構築と予後予測因子の探索」
松本武浩・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業「正確で簡便な看護業務時間測定と評価による業務改善システムの検証と実装に向けた研究」
松本武浩・准教授	日本学術振興会	分担	厚生労働科学研究費（難治性疾患等政策研究事業）「発刊異常を伴う稀少難治療性疾患の治療指針作成、疫学調査の研究」
松本武浩・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究C（一般）「クリニカルパスの診療の質・安全及び病院経営にたいする効果と適切な運用に関する研究」
松本武浩・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業「退院患者におけるオンライン診療外来の医療の質及び医療経済効果の評価に関する研究」
松本武浩・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業「ICT連携の検査データ共有による糖尿病コントロールと歯周治療の数値的関係の解明」
松本武浩・准教授	シスメックス株式会社		臨床検査データ共有に関する共同研究

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
松本武浩・准教授	疾患予後モデルの作成方法、このモデルを用いた疾患予後予測方法、このモデルによる予後予測装置、ならびにそのプログラム・記憶媒体	2004年11月4日	2008年7月16日	特願W02004/095021